

明治大学現代中国研究所

香港雨傘運動と「一国二制度」の将来

周保松 教授
(香港中文大学)

2018年6月24日

撮影者：蕭雲氏。写真提供に感謝します

雨傘運動とはなにか？

雨傘運動とは、香港史上最大の民主運動のこと。2014年9月下旬に始まり、同年12月中旬まで3カ月続いた。運動には100万人を超える香港市民が参加したとされ、その多くが学生や若者だった。市民らは香港中心部の主要道路に千単位のテントを張り、中国政府に向けて香港人に本当の民主を与えるよう要求。運動は最終的に香港の警察によって路上から排除され、その際に千人近くが逮捕された。

4つの基本ポイント

1. 雨傘運動の歴史的背景
 2. 雨傘運動の進展
 3. 雨傘運動の意義と影響
 4. ポスト雨傘運動の香港と中国
-

「中英共同声明」(1984年)

(二) 香港特別行政区は中華人民共和国中央人民政府の直轄下に置かれる。外交と国防が中央人民政府の管理に属するほか、香港特別行政区は高度の自治権を享有する。

(三) 香港特別行政区は行政管理権、立法権、独立した司法権と終審権を享有する。現行の法律は基本的には変わらない。

つまり、高度自治、香港人による香港自治をうたっている。

(中英共同声明条文の日本語訳は、データベース「世界と日本」
<http://worldjpn.grips.ac.jp/documents/texts/docs/19841219.D1J.html> より引用)

「香港基本法」(1990年)

第5条：香港特別行政区では、社会主義制度と政策を実施せず、現行の資本主義制度と生活方式を五十年間維持する。

「香港基本法」(1990年)

第45条：行政長官の選出方法は香港特別行政区の現実の状況と順序に従って漸進するという原則に基づいて規定し、最終的には広汎な代表性をもつ指名委員会が民主的手続きによって指名し、普通選挙で選出するのが目標である。

第68条：立法会の選出方法は、香港特別行政区の实情と順序に従って漸進するという原則にもとづいて規定し、最終的に全議員を普通選挙で選出することを目標とする。

「香港基本法」付録一： 香港特別行政区行政長官の選出方法

2007年以降、各期行政長官の選出方法を修正する必要がある場合、立法会全体議員の3分の2の賛成と行政長官の同意が必要であり、同時に全国人民代表大会常務委員会に報告して批准を受けなければならない。

(香港基本法条文の日本語訳は、「香港ポスト」日本語完訳

<http://www.hkpost.com.hk/history/index2.php?id=12169#.WyxTYHzZQI> より引用)

「全国人民代表大会常務委員会による香港特別行政区2012年行政長官及び立法会の選出方法及び普通選挙関連問題に関する決定」(2007年)

“2017年香港特別行政区第5代行政長官は普通選挙による選出を実施することができる。行政長官が普通選挙で選出された後、香港特別行政区立法会は全議員の選出に普通選挙を実施することができる。”

「オキュパイ・セントラル」

2013年1月16日 戴耀廷・香港大学法律学部教授が香港紙「信報」に「公民抗命は最大の殺傷力を持つ武器」という一文を発表し、「オキュパイ・セントラル」構想を初めて提案。これは「公民抗命 civil disobedience」(市民による命令への抵抗)の方法で2017年の特区行政長官普通選挙を勝ち取るというもの。この記事は香港で大きな議論を巻き起こし、雨傘運動へと向かう重要なきっかけとなった。

2013年3月27日 戴耀廷教授と陳建民・香港中文大学社会学部教授及び朱耀明牧師が連名で、「愛と平和でセントラルを占領する」という信念を発表。ここからこの3人は「オキュパイ・セントラル3人組」と呼ばれるようになる。

佔中三子在2014年七一大遊行現場



白書:「一国二制度」の香港特別行政区における実践(2014年6月10日)

中国国務院新聞弁公室は「白書:『一国二制度』の香港特別行政区における実践」を発表し、「一国二制度」の方針が意味する香港の高度な自治権の限度は、中央がどれだけの権力を授与するかによって決まり、香港特別行政区はそれに応じた権力を享有すると論じた。加えて「一国二制度」についても、二制度は一国に「従属」した上でのみ有効であり、特区長官の候補者は必ず「必ず国を愛し、香港を愛する人物」でなければならないとし、特区長官と立法会の普通選挙制度は「必ず国の主権、安全、発展の利益に適い、香港の実情に適い、社会各階層の利益をともに配慮し、バランスのとれた参与の原則を體現し、資本主義の発展に役立ち、特に香港特別行政区が中央人民政府の直轄下にある地方行政区域としての法的地位に適わなければならない、香港基本法と全国人民代表大会常務委員会の関連決定の定めに適わなければならない」とした。

(白書内容日本語訳は中国網の同白書日本語訳ページhttp://japanese.china.org.cn/politics/txt/2014-06/19/content_32711388.htmより引用)

全民投票(2014年6月22日)

「オキュパイ・セントラル」では全市民を対象に投票を呼びかけ、2017年行政長官選挙プランに対する市民の意見を収集した。その結果、香港の全人口700万人のうち79万人が投票し、行政長官選挙を市民と政党による指名制にすべきだという声がほぼ全体を占めた。投票者の88%(ほぼ70万人)が、政府プランは有権者に真の意味の選択を与えておらず、立法会はこれを否決すべきだと回答。これは香港史上初の民間全民投票であったが、政府はその正当性を認めなかった。

「オキュパイ・セントラル」リハーサル(2014年 7月2日)

7月1日に行われた対政府抗議デモの後、大学大専学生連合会(学連)と学生グループ「学民思潮」が呼びかけ、セントラルのチャータード公園で「オキュパイ・セントラル」のリハーサルとして平和的な座り込みが行われたが、警察はこれを公的秩序を乱す違法集会と断定。未明3時頃から警察による排除がまり、合計511人が逮捕された。その後、500人を超える大学教師らが連名で逮捕者への支援の声をあげた。

預演佔中現場（清場前夕）



預演佔中現場 (2014/7/2)



雨傘運動觸發點：中國人大常委會8.31決議案

一、從2017年開始，香港特別行政區行政長官選舉可以實行由普選產生的辦法。

二、香港特別行政區行政長官選舉實行由普選產生的辦法時：

（一）須組成一個有廣泛代表性的提名委員會。提名委員會的人數、構成和委員產生辦法按照第四任行政長官選舉委員會的人數、構成和委員產生辦法而規定。

（二）提名委員會按民主程序提名產生二至三名行政長官候選人。每名候選人均須獲得提名委員會全體委員半數以上的支持。

（三）香港特別行政區合資格選民均有行政長官選舉權，依法從行政長官候選人中選出一名行政長官人選。

（四）行政長官人選經普選產生後，由中央人民政府任命。

雨傘運動の始まり: 中国人民代表大会常務委員会による8月31日決議(8.31 決議)

- 一、2017年より、香港特別行政区行政長官選挙は普通選挙による選出方法を実施することができる。
- 二、香港特別行政区行政長官選挙で普通選挙が実施された場合：
 - (一) 必ず広範な代表性を持つ指名委員会を組織する。指名委員会の人数、構成及び委員の選出方法は第4代行政長官選挙委員会の人数、構成及び委員選出方法と規定に基づく。
 - (二) 指名委員会は民主的な手順にのっとり、2名から3名の行政長官候補者を選出する。候補者はすべからくそれぞれが指名委員会委員全体の半数以上の支持を得なければならない。
 - (三) 香港特別行政区の有権者はすべからく行政長官選挙権を有し、法律に基づいて行政長官候補者から行政長官1名を選出する。
 - (四) 行政長官の人選は、普通選挙による選出後中央人民政府が任命する。

行政長官指名委員会

指名委員会は以下のとおり各業界からの合計1200人で構成される。

1. 工業・ビジネス及び金融業界(300人)
2. 専門資格業界(300人)
3. 労働組合、社会サービス、宗教界など(300人)
4. 立法會議員、区議會議員の代表、村議局の代表、香港特別行政区全国人民代表、香港特別行政区全国政治協商委員の代表(300人)

2014年8月31日金鐘集會，和平佔中正式啟動



學生領袖在831集會現場



學者在現場宣讀聲明



對話之路雖盡，民主之心不死——致全港市民書

我們是一群在香港大專院校從事教學及研究工作的學者。

我們得悉，全國人大常務委員會已就2017年特首選舉作出決定，規定提名門檻為「過半數提委」，同時將候選人數目限定在三人之內。這個決定，容許不民主的提名委員會操控誰人可以成為特首候選人，嚴重限制不同政見人士參選特首的機會，並徹底扼殺了繼續討論各種政改方案的可能。北京背棄了自上世紀八十年代以來一直強調的「民主治港」承諾，巧言令色地強迫港人接受指鹿為馬的假普選框架，我們對此感到極度失望憤慨。

事態發展至此，透過對話爭取2017年實現真普選之路，恐怕已經走到盡頭。儘管如此，我們可以憤怒，但不可以衝動；我們可以失望，但不可以放棄；我們可以難過，但絕不可以心死。

儘管我們所追求的民主普選，在短期之內已經難以實現。但今天的挫折，只會更加堅定我們爭取民主的決心。我們深信，只要我們團結起來，共同承擔起時代的責任，真正的民主普選，終會在香港這片土地實現。

「民主回帰」論の破綻をもたらした「8.31決議」

「民主回帰」とは、「民族に立ち戻り、民主的な香港を構築する」ことを指す。1980年代初めに行われた中英協議の際に香港中文大学の学生会が掲げたスローガンで、民族主義と反植民地主義的立場から中国への主権返還を支持する一方で、香港における真の民主的自治の実現を求めている。これはその後、民主派と知識層の基本的な立ち位置ともなった。

香港史上最大規模罷課集會 (2014.9.22, 香港中文大學)



大罷課



大罷課



大罷課



周保松：民主實踐與人的尊嚴
(2014年9月22日；中文大學)



罷課講座 (中文大學新亞書院)



大罷課講座現場 (2014.9.22 ; 中文大學)



罷課不罷學：論自由 (2014.9.23 ; 金鐘政府總部)



罷課不罷學現場 (2014.9.23 ; 香港政府總部)



講座現場聽眾
(2014.9.23; 金鐘添馬公園)



討論羅爾斯 (John Rawls) 《正義論》 (2014. 9.24; 金鐘政府總部)



解讀《正義論》 (2014.9.24; 政府總部)



學生佔領政府總部的公民廣場（9月26日）



雨傘運動開始 (2014. 9.28; 金鐘)



催淚彈如雨下



佔領運動正式開始 (2014. 9.28)





警察

(2014.9.28; 金鐘)







戴耀廷痛哭，陳日君安慰（9.28，明報相片）



金鐘現場



金鐘數以千計的營幕



香港營



周永康（學聯秘書長，香港大學學生）



岑敖暉（學聯副秘書長，中文大學學生）



黃之鋒（學民思潮）



戴耀廷教授（和平佔中發起人）

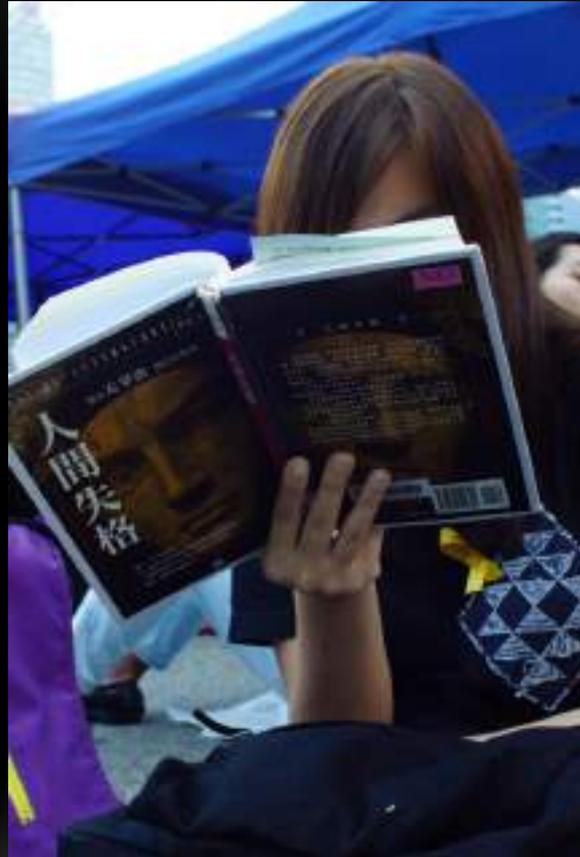


陳健民教授（和平佔中三子之一）



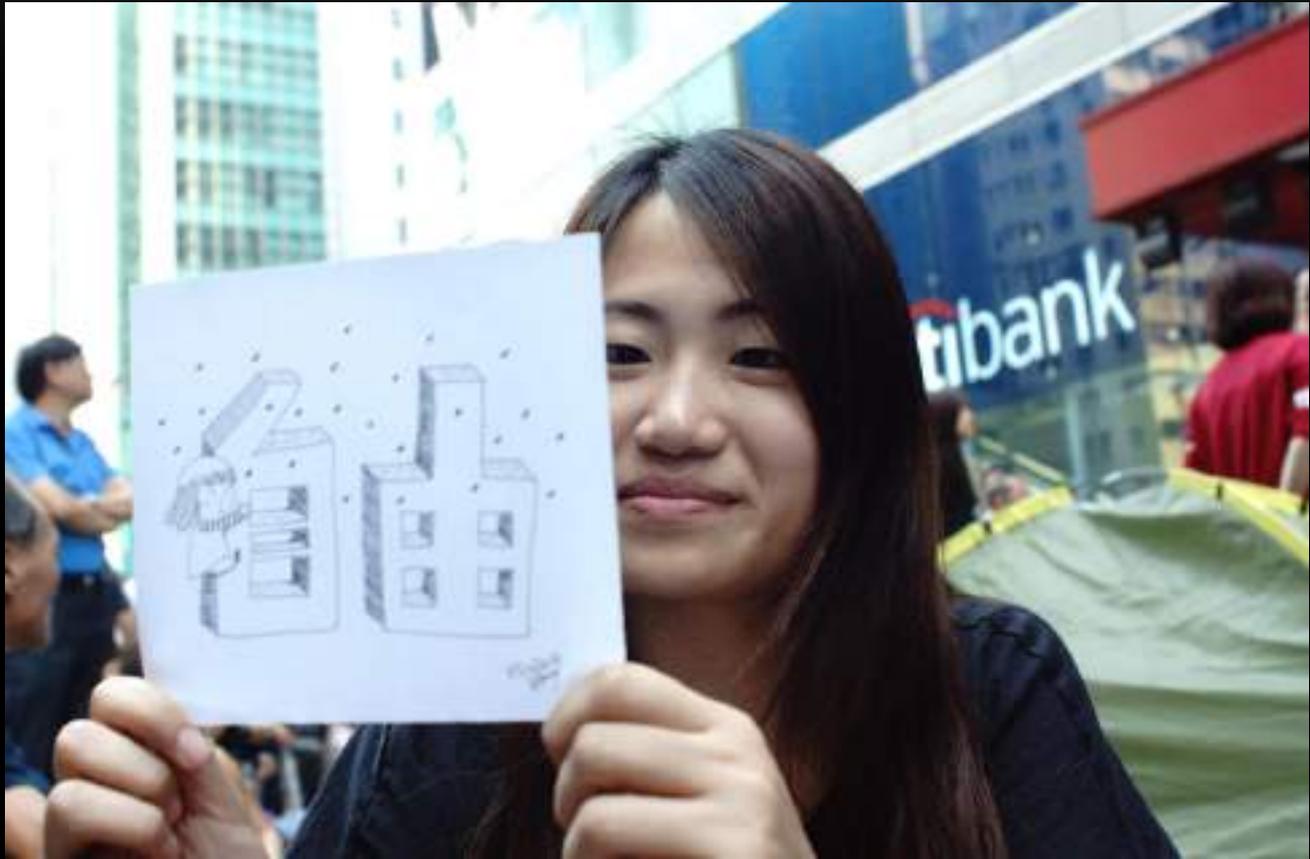
香港著名歌手黃耀明、何韻詩



























周庭（學民思潮）

















































默讀行動。聲援絕食學生
(2014.12.6; 金鐘佔領區)



北島， 《守夜》 ； 徐曉 《半生為人》



一起默讀







岑敖暉被捕 (2014.11.27)



金鐘清場 (2014.12.11)





被捕 (2014.12.11 ; 金鐘)



清場之後



雨傘運動の意義

1. 1989年の天安門事件以降に起こった中国最大の民主運動であること。
 2. 現代における世界最大規模の公民抗命行動であること。
 3. 「一国二制度」実験の失敗。
 4. 香港の若者世代全体の政治への目覚め。
 5. 香港独立思想の出現。
-

今後の香港はようになるのか？

1. 香港の運命は香港人自身の努力にかかっており、また中国が依然として「一国二制度」を重視するかどうかも決め手となる。
2. 疑問点：「一国二制度」は依然として実現可能な制度なのか？ もしそうでなければ、香港の民主は最終的に中国が民主化するかどうかにかかっているのではないか？
3. ならば、中国の民主化を推進するために、香港はいかなる役割を演じて、いかなる効果をもたらすことができるのか？